

提 言 書

少子高齢化や人口減少が急速に進む地方において、日々の安全で安心な生活を確保し、それぞれの地域経済の活性化を図るためには、高速道路から市町村道に至る道路網の整備が不可欠です。

また、発生の切迫度が高まる南海トラフ地震を始めとする大規模災害に備えて、支援・受援体制を事前に構築し住民の命を守りつなげるためにも欠かすことが出来ません。このため、以下のとおり提言します。

一、 交流人口や商圈を拡大し、地域経済の好循環から拡大再生産を図るとともに、大規模災害時の円滑な支援部隊の進出などを確保し地域防災力を高めるための、信頼性と安定性が高い高規格道路の早期整備、及び暫定2車線区間の4車線化等の実現

〔 四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道
高知松山自動車道（高知西バイパス、越知道路） 〕

一、 安全・安心な通勤、通学の確保や地域のめぐみの安定した出荷に不可欠な、道路の整備や橋梁耐震化及び老朽化対策を推進するための、社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の充実及び、大規模修繕・更新事業の対象要件の拡大

一、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の嵩上げ措置については、老朽化などの課題への対応や地域の財政状況などを考慮し、平成30年度以降の継続

一、 将来にわたって地域に様々な効果をもたらす道路整備を推進するため、平成30年度当初予算において道路予算全体を拡大した上で、整備に必要な予算の確保及び、道路整備を加速化させるための平成29年度補正予算の早期編成

平成29年11月9日

高 知 県 道 路 利 用 者 会 議 会 長 楠 瀬 賢 一

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 会長 池田 洋光

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。

私達は、ストック効果を拡大するとともにさらに高め、経済の活性化につなげます。